

セルフスタンドに設けられたパッケージ型固定泡消火設備が作動しなかった事案

【事案概要と原因】

都内のセルフスタンドにおいて、火災発生時にパッケージ型固定泡消火設備から消火薬剤が放出されなかった事案が発生しました。

従業員が消火器を使用して消火しましたが、監視室にいた別の従業員がパッケージ型固定泡消火設備を起動したものの、消火薬剤は放出されませんでした。

原因は、パッケージ型固定泡消火設備の格納箱に設けられた加圧用ガス容器の底部が腐食し、加圧用ガスが漏れ、圧力が低下したものと推定されています。

【点検の留意事項】

類似事案の防止のため、加圧用ガス容器の目視点検にあたっては、特に、雨水等の侵入により腐食が生じやすい底部や、異常を見落としやすい隠ぺい部に留意して点検していただくをお願いします。

また、異常を発見した場合等は取扱説明書等を確認し、必要に応じて設備業者にご相談していただくようお願いいたします。

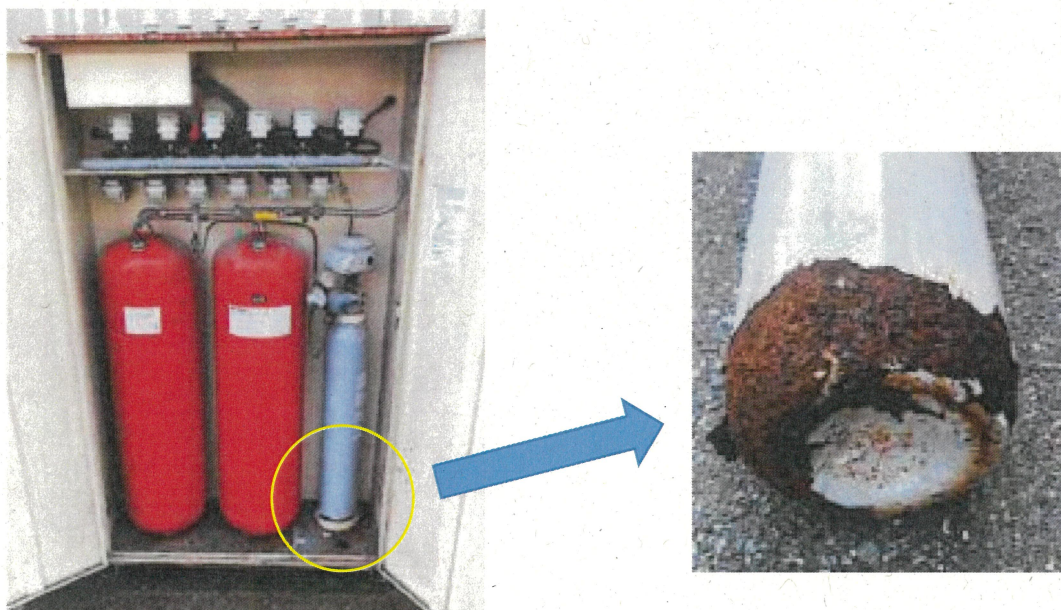


写真 パッケージ型固定泡消火設備の加圧用ガス容器の腐食の状況